

第59期

2018年度

(2018年7月1日～2019年6月30日)

# 環境経営レポート

ビルの総合管理を通じて社会に貢献します。



広島管財株式会社

<http://www.hr-kanzai.co.jp>

## 目次

1. 組織の概要
2. 対象範囲およびレポート対象期間・発行日
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境経営活動計画
6. 環境経営目標の実績
7. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、  
次年度の取組内容
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び  
評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

## 1-1. 組織の概要

事業所名	広島管財株式会社
代表者	代表取締役社長 川妻 利絵
所在地	広島市中区大手町5丁目7番17号
環境管理責任者	事務管理部 課長 深田 宗人
担当者	事務管理部 横畑 義一
連絡先	☎ 082-243-5501 FAX 082-241-4323
従業員数	276名
床面積	460m <sup>2</sup>
認証登録範囲	認証登録組織:全組織(本社及び現場)
対象期間	2018年7月1日～2019年6月30日
発行日	2019年8月30日

### 事業概要

		売上高 (単位百万円)
第57期	2016年7月～2017年6月	739
第58期	2017年7月～2018年6月	731
第59期	2018年7月～2019年6月	742

総合ビルメンテナンス業	
建築物環境衛生管理業	豊富な経験とノウハウでお客様の建物の維持・環境衛生管理に貢献いたします。今後、全社員環境衛生士取得を目指し清潔な環境を提供することでお客様のビジネスの効率アップに貢献します。
建築物飲料水貯水槽清掃業	
建築物ねずみ昆虫防除業	
ビル建物清掃	
警備業	豊かな経験・専門知識で警備にあたり、利用者の立場を考えた迅速な行動と安全性の確保に努めています。
ビル設備保守運転管理	高い技術力でお客様の大切な建物を保守・コントロールしながら、快適な空間を維持管理し、ライフサイクルコスト削減に協力します。
Lapica	ハウスクリーニング・整理整頓
施設サービス	寮管理 ご両親、ご家族に安心をお届けします。
みどりのポスト	紙のリサイクルとセキュリティの両面を あわせもつ「みどりのポスト」

## 1-2. 組織の概要

### 事業紹介



掃除に片付け **✕** すっきり  
**LaPica**

ハウスクリーニング・整理整頓など、より快適な住環境のトータルライフサポート。確かな教育を受けた女性スタッフが中心となり、お客様に安全で安心していただけるサービスを「LaPica」ブランドがご提案いたします。

### みどりのポスト

リサイクルとセキュリティの両面をあわせもつ「みどりのポスト」



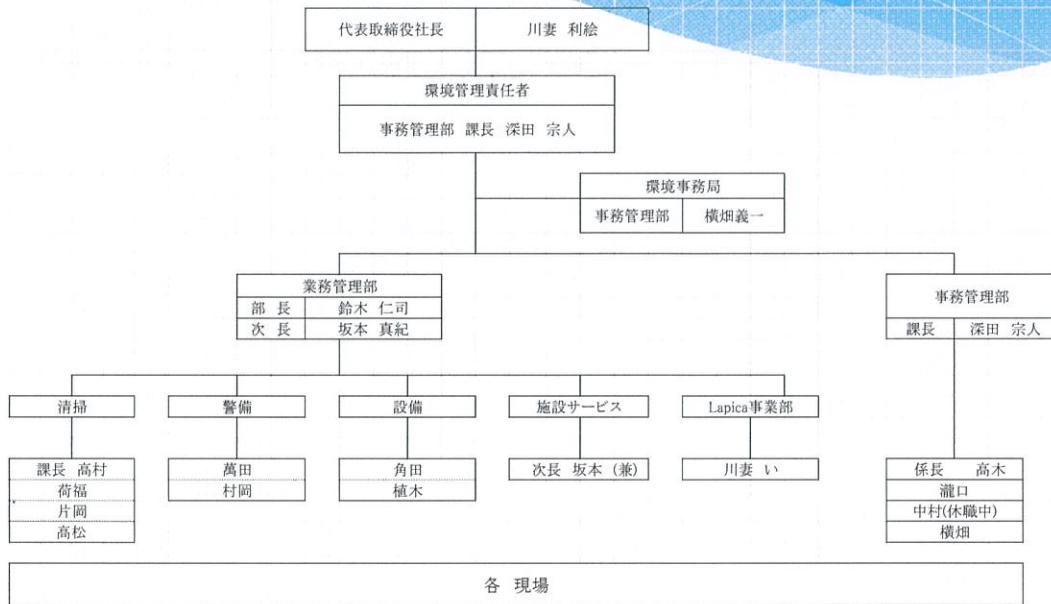
## 2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

対象範囲 凡例

- レポート対象期間：2018年7月1日～2019年6月30日
- レポート発行日：2018年8月20日

### 広島管財株式会社 環境経営システム組織図

改定：2019/7/1



役職・組織	役割
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境経営目標の設定を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境経営計画書を承認</li> <li>・環境経営の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者、EA21推進会議の事務局</li> <li>・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境経営計画の実績集計</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと事務局への送付）</li> </ul>
部門長 ・業務管理部 部長 ・事務管理部 課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する環境活動の啓蒙</li> <li>・特定された項目の運用管理</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

### 3. 環境経営方針

当社は環境問題を重要な経営課題の一つと捉え、環境に配慮した企業活動を実践することが重要な社会的責任であると認識しています。

ビルの総合管理を通じて社会に貢献することを目指すなかで、利用者に快適な環境を提供すると共に、ますます深刻化する地球温暖化に対し、その責任を果たすために全従業員が参画し清掃・設備点検・警備業務での効率化により省エネ・省資源と廃棄物の削減を進め、温室効果ガス排出量削減への貢献と資源循環の促進に努めてまいります。

#### 〈 環境保全への行動指針 〉

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物の削減とリサイクル推進
- ③ 水資源の節水
- ④ 環境に配慮した資機材の利用及び販売促進
- ⑤ 労働生産性向上への取組推進

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、「エコアクション21」の定着を図ります。

2. 地域社会における環境保全活動に積極的に参加し、社会貢献活動を推進します。
3. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
4. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

2008年12月 1日 制定

2019年 4月24日 改定

代表取締役社長

川妻 利絵

## 4. 環境経営計画

項目	環境経営目標	取組内容
二酸化炭素	電力のCO <sub>2</sub> 排出量削減 基準年(2016年)から ▲5%の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不要照明・温水便座のスイッチOff</li> <li>・クールビズ・ウォームビズ運動</li> <li>・エレベーター使用制限</li> <li>・パソコンの省エネ設定、不要時の電源off</li> </ul>
	自動車燃料のCO <sub>2</sub> 排出量削減 基準年(2016年)から ▲10%の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブ運転の展開</li> <li>・急加速・急停止の防止、アイドリングストップ</li> <li>・公共交通機関の利用</li> <li>・自転車の活用</li> </ul>
	都市ガスのCO <sub>2</sub> 排出量削減～ 基準年(2016年)の▲20%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給湯器のスイッチをこまめに切る。</li> <li>・無駄なお湯を沸かさないようにする。</li> <li>・省エネタイプ給湯器への変更。</li> <li>・削減の呼びかけ(意識啓蒙)</li> </ul>
廃棄物	①廃棄物の総排出量の削減。 ～基準年(2016年)の▲15%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書類の簡素化、電子化、ペーパーレス化</li> <li>・両面・集約等の複合機の機能の活用</li> <li>・コピー機器の枚数リセット履行</li> </ul>
	②リサイクル比率の向上 基準年(2016年) 50% → 53%に向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別ごみの徹底・・・リサイクルの意識の高揚</li> <li>・シュレッダー、みどりのポスト活用の推進</li> </ul>
節水	水道水使用量の削減～基準 年(2016年)の▲15%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水意識の徹底</li> <li>・漏水点検、機器点検と修理・取替</li> </ul>
環境配慮製 品販売	みどりのポスト販売～基準年 (2016年)の2個増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客先へのPR(環境配慮製品)</li> <li>・ホームページへの掲載</li> </ul>
労働生産性 向上の取組 推進	お掃除ロボットの導入検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メーカー検討 ・導入台数の検討</li> <li>・導入対象現場の検討</li> <li>・費用対効果の検討</li> </ul>
地域貢献	社会貢献活動と 地域コミュニケーション ○年間 14ポイント  外部貢献活動 1回1ポイント 本社周辺清掃 ”	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島市大田川クリーンキャンペーン 7月</li> <li>・広島市平和公園美化奉仕活動 8月</li> <li>・広島市ごみゼロ・クリーンウォーク 6月</li> <li>・会社周辺の定期清掃活動 年12回</li> </ul> ※大田川クリーンキャンペーン中止→目標変更

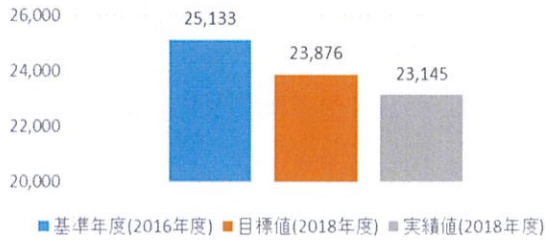
## 5-1. 環境経営目標の実績

項目(	環境目標	2018年度 目標	2018年度 実績	評価
二酸化炭素 排出量の 削減	電力のCO <sub>2</sub> 排出量削減 ▲5% (基準年比以下同様) ※CO <sub>2</sub> 排出係数は平成29年中 国電力の調整後係数 (0.677kg-CO <sub>2</sub> /kwh)を使用	23,876kg-CO <sub>2</sub>	23,145kg-CO <sub>2</sub>	◎
	自動車燃料のCO <sub>2</sub> 排出量 削減 ▲10%	10,714kg-CO <sub>2</sub>	8,954kg-CO <sub>2</sub>	◎
	都市ガスのCO <sub>2</sub> 排出量 削減 ▲20%	26.4kg-CO <sub>2</sub>	25.0kg-CO <sub>2</sub>	◎
	計	34,616.4kg-CO <sub>2</sub>	32,124kg-CO <sub>2</sub>	◎
廃棄物削減	(1)総排出量削減 ▲15%	総排出量 746kg	701kg	◎
	(2)リサイクル推進	総排出量の 53%	56.1%	◎
節水	水道水使用量の削減 ▲15%	水使用量 377m <sup>3</sup>	172m <sup>3</sup>	◎
環境配慮 製品販売	みどりのポスト販売量	24個	26個	◎
労働生産性 向上の取組 推進	お掃除ロボットの導入検討	メーカー、台数、対 象現場の検討 費用対効果の検 討	100%	◎
地域貢献	地域貢献活動	14ポイント	14ポイント	◎



## 5-2. 環境経営目標の実績～基準年度(2016年度)との比較

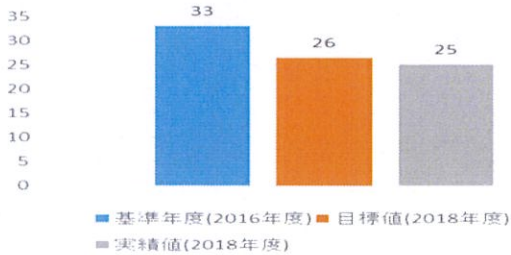
電力量CO<sub>2</sub>排出量 kg-CO<sub>2</sub>



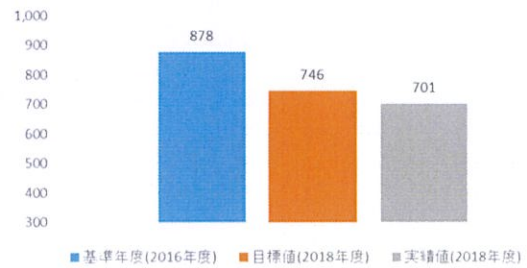
自動車燃料のCO<sub>2</sub>排出量 kg-CO<sub>2</sub>



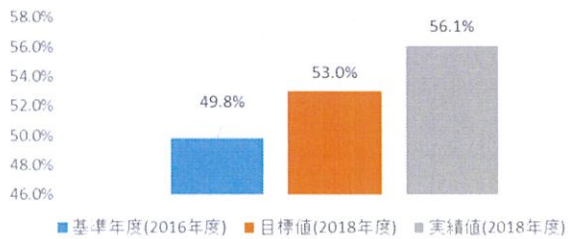
都市ガスCO<sub>2</sub> 排出量



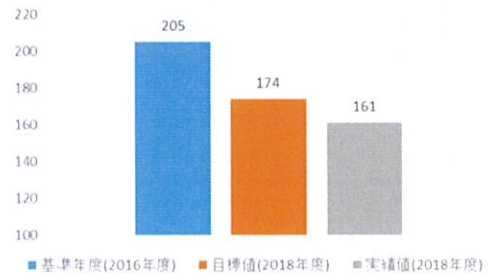
廃棄物排出量 kg



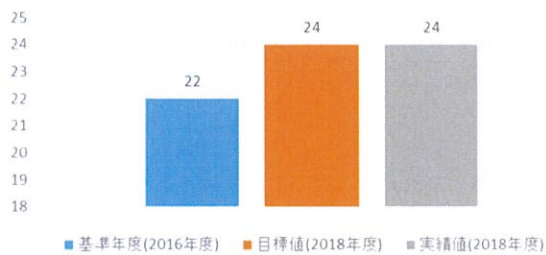
リサイクル推進(総排出に占める割合)



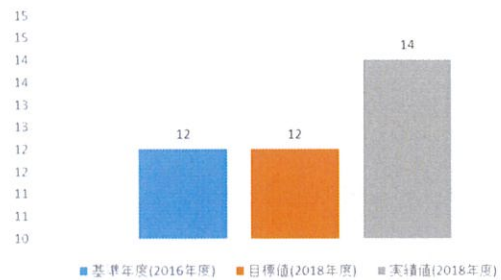
水道水使用量 m<sup>3</sup>



みどりのポスト販売個数



地域貢献活動 ポイント



## 6. 環境経営目標の推進(今後3カ年の目標)

環境目標K	2016年度 2016.7-2017.6 基準年	2018年度 2018.7-2019.6	2019年度 2019.7-2020.6	2020年度 2020.7-2021. 6
電力のCO <sub>2</sub> 排出量削減	25,133kg-CO <sub>2</sub>	△5% 23,876kg-CO <sub>2</sub>	△6% 23,625kg-CO <sub>2</sub>	△8% 23,122kg- CO <sub>2</sub>
自動車燃料の CO <sub>2</sub> 排出量削減	11,905kg-CO <sub>2</sub>	△10% 10,714kg-CO <sub>2</sub>	△12% 10,476kg-CO <sub>2</sub>	△13% 10,357kg- CO <sub>2</sub>
都市ガスの CO <sub>2</sub> 排出量削減	33kg-CO <sub>2</sub>	△20% 26.4kg-CO <sub>2</sub>	△20% 26.4kg-CO <sub>2</sub>	△22% 25.7kg-CO <sub>2</sub>
一般廃棄物 の削減	878kg	△15% 746kg	△15% 746kg	△20% 702kg
リサイクル推進	49.8% (総排出量に占 める割合)	53%	55%	56%
水道水使用量 の削減	205m <sup>3</sup>	△15% 174m <sup>3</sup>	△15% 174m <sup>3</sup>	△18% 168m <sup>3</sup>
みどりのポスト 販売	22個	24個	25個	25個
労働生産性向 上への取組推 進 ※項目追加		お掃除 ロボットの 導入検討	お掃除 ロボットの 導入検討	未定
地域貢献活動 環境美化活動 参加	15P	12P	12P	12P

## 7-1. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

項目	環境活動計画の達成手段	取組結果とその評価 ※	計画達成のための次年度取組内容
電力のCO <sub>2</sub> 排出量	不要照明スイッチoff ○ 温水便座のスイッチoff◎ クールビズ・ウォームビズ運動◎ エレベーター使用制限○ パソコンの省エネ設定◎ 不要時の電源off○	目標達成率は103% (目標 23,876 実績 23,145)  ◎年間を通じて省エネ意識の啓蒙(不要照明の消灯、エアコンの節約他)に努め、年度中途の目標変更にも拘わらず目標を達成した。	不要照明スイッチoff 温水便座のスイッチoff クールビズ・ウォームビズ運動 エレベーター使用制限 パソコンの省エネ設定 不要時の電源off 高効率機器の導入
自動車燃料のCO <sub>2</sub> 排出量	エコドライブ運転展開◎ 省エネ車両の導入× 急加速・急停車の防止○ アイドリングストップ○ 公共交通機関の利用○ 自転車の活用○	目標達成率は116% (目標 10,714 実績 8,954)  全部門で二酸化炭素削減意識が根付き、期中の目標改定にも拘わらず目標を達成した。	エコドライブ運転展開 急加速・急停車の防止 アイドリングストップ 公共交通機関の利用 自転車の活用
都市ガスのCO <sub>2</sub> 排出量削減	給湯器のスイッチをこまめに切る○ 無駄なお湯を沸かさないようにする○ シャワーの使用時間を意識する○ 削減の呼びかけ△	目標達成率は105% (目標 26.4 実績 25)  年度途中の厳しい目標改定(基準年の▲10%削減)に拘わらず削減意識の徹底により、改定後の目標をクリアした。	給湯器のスイッチをこまめに切る。 無駄なお湯を沸かさないようにする。 シャワーの使用時間を意識する。 削減の呼びかけ
一般廃棄物の削減	①総排出量の削減 ・書類の簡素化、電子化、ペーパーレス化 △ ・両面、集約等の複合機の機能活用 ○  ②リサイクル推進 ・分別ごみの徹底 ○ ・みどりのポスト活用	① 目標達成率は106% (目標 746 実績 701)  ② 目標達成率は105% (目標 53% 実績 56%)  目標改定にあたり、最も業務分野に近いことから目標設定を厳しくしたが、ごみ抑制意識とリサイクル意識の高揚により、改定後目標を達成できた。	①書類の簡素化、電子化、ペーパーレス化 両面、集約等の複合機の機能活用 コピー機の枚数リセット リユース活動(裏紙、封筒の活用) ②分別ごみの徹底 みどりのポスト、シュレッダーの活用
水使用量の削減	・節水呼びかけ(節水意識の啓蒙) ・機器点検と修理・取替え	目標達成率は107% (目標 174 実績 161)  目標改定にあたり基準年の▲15%としたが、意識の浸透により達成した。	・節水呼びかけ(節水意識の啓蒙、徹底)  ・機器点検(漏水など点検)

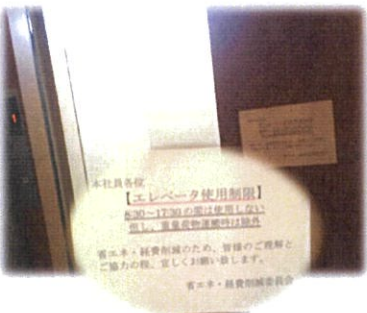
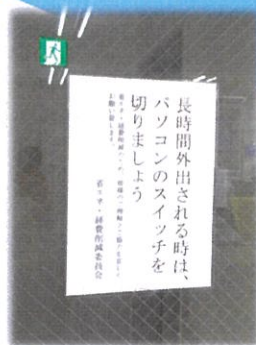
## 7-2. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

項目	環境活動計画の達成手段	取組結果とその評価 ※	計画達成のための次年度取組内容
みどりのポスト販売量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みどりのポスト」拡販(客先への環境配慮製品の販売目標説明) △</li> <li>・ホームページへの掲載 ○</li> </ul>	<p>目標他達成率 108% (目標 24 実績 26)</p> <p>目標は達成したが、まだまだ社内外で「みどりのポスト」への意識は低い。引き続き意識高揚に勤める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みどりのポスト」拡販(客先への環境配慮製品の販売目標説明) △</li> <li>・ホームページへの掲載 ○</li> <li>・社内でのみどりのポスト推進運動</li> </ul>
※労働生産性向上の取組推進【お掃除ロボットの導入検討】	<p>目標 「ロボット導入による効果の検証」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メーカーの検討</li> <li>・導入台数検討</li> <li>・導入対象現場の検討</li> <li>・費用対効果の検証</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>目標達成率 100%</p> <p>◎中間審査時の審査員の指摘により、目標追加。</p> <p>・ロボット導入に向けての検討を実施し。試験的導入を決定した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本事項(メーカー・台数・対象現場など)の検討</li> <li>・試験的導入の実施</li> <li>・導入後のデータ取得(費用対効果の実証など)</li> <li>・今後の方向性の決定</li> </ul>
地域貢献活動	<p>環境美化活動への積極参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平和公園美化奉仕活動 ○</li> <li>・太田川クリーンキャンペーン 中止</li> <li>・広島市ごみゼロ・クリーンウォーク○</li> </ul> <p>地域貢献活動 会社周辺清掃(毎月) ○</p>	<p>目標達成率 106%</p> <p>目標12回⇒実績14回 現場長会議終了後の会社周辺清掃が定着した。</p>	<p>会社周辺清掃実施 太田川クリーンキャンペーン参加 広島市クリーンウォーク参加</p>

### 2018年度環境活動(経営目標)について～変更点等説明

- 2017年版「エコアクションガイドライン」への移行(2019年1月実施)
  - ①環境経営方針の設定
  - ②環境経営目標の改定
- 中間審査指摘に伴う、環境経営方針等の変更(2019年4月実施)
  - ①環境経営方針の項目追加・・・※印の「労働生産性向上の取組推進」
  - ②基準年及び目標値の変更・・・2016年度を基準年とし、年度の目標値を再設定～職場環境が大幅に変わる中で従来(基準年)では整合性が取れなくなったため。

## 8-1. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 二酸化炭素排出量削減活動



## 一般廃棄物削減活動

排出管理表

月	種類	数量	削減率	備考
7月	紙類	100kg	10%	
8月	紙類	120kg	12%	
9月	紙類	150kg	15%	
10月	紙類	180kg	18%	
11月	紙類	200kg	20%	
12月	紙類	220kg	22%	
1月	紙類	250kg	25%	
2月	紙類	280kg	28%	
3月	紙類	300kg	30%	
4月	紙類	320kg	32%	
5月	紙類	350kg	35%	
6月	紙類	380kg	38%	



## 8-2. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

### 地域貢献活動



ごみゼロウォーク



太田川クリーン  
キャンペーン



会社周辺清掃



## 9. 環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規	要求事項	遵守状況
建築物における衛生的環境の確保に関する法律(ビル管法)	建築物における衛生的環境の確保に関する事業の登録 衛生的な環境の確保を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図る	適
水道法	公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与	適
医療法15条の2	医療関連サービスマーク(院内清掃業務)認定	適
警備業法	警備業の要件 警備業者の責務 登録基準	適
消防法	火災予防措置 火災・地震等災害の被害の権限	適
廃棄物処理法	分別廃棄 収集許認可確認	適
家電リサイクル法	特定家庭用機器の長時間使用と適切な廃棄(エアコン、ブラウン管テレビ、冷蔵庫、洗濯機、電気冷蔵庫)	適
グリーン購入法	環境負荷の少ない社会の構築 環境物品等の情報提供 国民の健康で文化的な生活の確保	適
道路交通法	事故防止 エコドライブ推進	適
フロン排出抑制法	フロン類の登録回収業者による適切な回収 簡易点検の実施と記録簿の作成	適

◎環境関連法規違反はありませんでした。また、関係機関からの指摘及び訴訟、外部からの苦情等もありませんでした。

## 10. 代表者による全体評価と見直しの結果

### 環境への取組評価

- ①2018年度は、エコアクション21 2017年版ガイドラインへの移行・対応を実施した。また、中間審査時での指摘により、環境経営目標を改定し実態に即したものとした。
- ②目標の改定にあたっては、かなり厳しい目標としたが、全ての項目において目標をクリアすることができた。
- ③特に、「二酸化炭素排出量の削減」については『日常業務の中で具体的な指示(パソコンの省エネ設定、不要電灯の消灯など)』を徹底することで削減意識の高揚を図った。
- ④また、「廃棄物排出量の削減・リサイクル」については業務分野に近いことから『分別ゴミの徹底』を実施した。※データを取ることが難しい各現場へも実施を指示した。
- ⑤社会貢献活動・地域貢献清掃は継続する。
- ⑥掃除ロボットについては計画スケジュールに沿い、方向性を見極めて行く。

### 環境経営システム各要素の評価

- ①対象は全事業所を継続する。
- ②環境関連法規遵守を徹底する。
- ③環境に関する社員教育を継続する。(新入社員、職種別の研修会、現場長会議等)
- ④現場を含んだ内部監査の仕組継続
- ⑤顧客へのエコアクション21をアピール(みどりのポストなど)

### 見直し(変更の必要性和指示)

- ①「環境経営方針」(2017年版ガイドライン対応、2019/4/24改定)については継続する。
- ②環境経営目標項目についても前年度の継続とする。但し、目標値は実績を考慮し設定する。